

ご使用にあたって

★ポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください

警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがある事を記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。いただきたい事を記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

警告 〈取り付けできない座席〉

- シートベルトが付いていない座席
- チャイルドシートで運転に支障をきたす座席
- 2点式シートベルトが付いている座席
- 横向き、後ろ向きの座席
- エアバッグが付いている座席

取り付けできるシートベルト

〈ELR式シートベルト〉…緊急ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト
ゆっくり引き出すと自由に出入りしますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。

〈AELR式シートベルト〉…チャイルドシート固定機能付シートベルト
すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

〈NLR式シートベルト〉…非ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト
ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。

〈ALR式シートベルト〉…自動ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト
引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。

〈マニュアル式シートベルト〉
巻き取り装置のない3点式シートベルト。

取り付けできないシートベルト

〈腰ベルトに付いたELR式シートベルト〉
腰ベルト側にELRが付いているシートベルト。

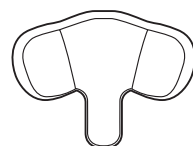
〈2点式シートベルト〉
肩ベルトがない腰ベルトのみのシートベルト。

〈パッシブシートベルト〉
前部座席に座りドアの開閉により、自動的に装着・解除されるタイプのシートベルト。

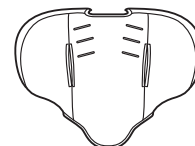
各部のお手入れ

●カバー・パット・クッション

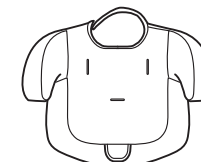
中性洗剤を使い、手洗いしてください。
塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
風通しのよい日陰で干してください。
しっかり乾くまで使用しないでください。
アイロンがけはしないでください。



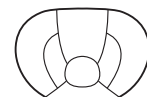
ヘッドサポートカバー



背カバー



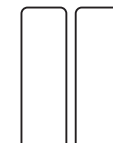
座カバー



ヘッドパット



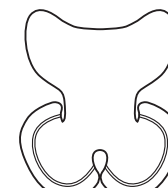
クッション材



肩ベルトパット



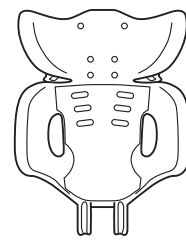
バックルパット



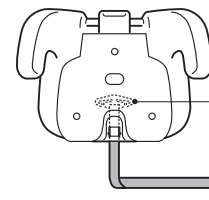
インナークッション

●本体・バックル・ベルト・金具

乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
風通しのよい日陰で干してください。
しっかり乾くまで使用しないでください。



本体(背)



本体(座)



タング



ベルト
連結金具



バックル
バックルベルト
固定金具



固定金具



肩ベルト



ベビーファンハーネス
ブラウン

保証書

保証期間：お買い上げから1年間

※お買い上げ時に、**お客様名・お買い上げ日・販売店名**をご記入ください。

もしくは**お買い上げレシート**を添付してください。

※本保証書は**再発行致しません**ので、紛失しないようにご注意ください。

お買い上げ年月日	年 月 日	
商品名	ベビーファンハーネス ブラウン	
お客様	ご住所	〒 ----- TEL () -
	お名前	
販売店	住所	〒 ----- TEL () -
	販売店名	

企画・輸入元

株式会社 シーエー産商

本社 〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51
TEL.0568-28-5333 FAX.0568-28-5340

<http://www.ca-sansho.co.jp/>

2016-04

ベビーファンハーネス
ブラウン

保証書
付

MC-229 取扱説明書

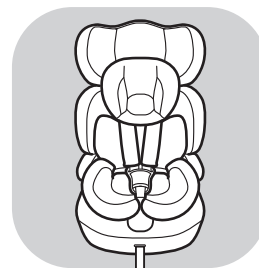
ご使用前には**安全のために必ずお読みください**。

- 本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則第44号の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除き大抵の車両に適合します。
- 車両製造者の車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置が正しく取り付けられます。
- 本装置は、3点式巻取装置付シートベルトを装備している座席にのみご使用できます。(2点式シートベルトの座席にはご使用できません。)
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または、(株)シーエー産商までお問い合わせください。

本装置をご使用いただけるお子様の目安

チャイルド 〈グループI〉

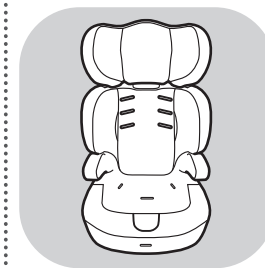
- 適用体重
9kg以上 18kg以下
- 年齢の目安：**1歳頃～4歳頃**
- 身長の目安：**75～100cm以下**



車両のシートベルトで本装置を固定、本装置のベルトで、お子様を拘束します。

ハイバックジュニア 〈グループII〉

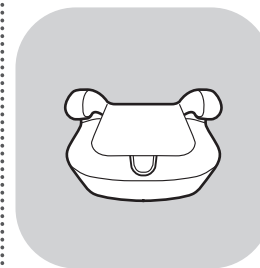
- 適用体重
15kg以上 25kg以下
- 年齢の目安：**3歳頃～7歳頃**
- 身長の目安：**95～120cm以下**



本装置のベルトを取り外し、車両のシートベルトで、お子様を拘束します。

ジュニア 〈グループII,III〉

- 適用体重
15kg以上 36kg以下
- 年齢の目安：**3歳頃～11歳頃**
- 身長の目安：**95～138cm以下**



背もたれを取り外し、座のみにして、車両のシートベルトで、お子様を拘束します。

※適用体重・身長は、あくまでも「目安」です。体重条件を満たしていないお子様は、ご使用になれません。
※車両の進行方向に対し、必ず前向きに取り付けてください。(横向きや後向きでは取り付けられません。)

●**本革シートの車両はシートが傷むおそれがありますので、そのまま取り付けしないでください。取り付けの場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。**

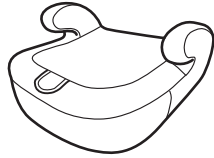
ジュニアシート(座のみ)としての使い方

(グループII, III)

取り付け方 ●適用体重: 15kg以上36kg以下
●身長目安: 95~138cm以下

1

背もたれを倒し、座から背もたれを取り外します。



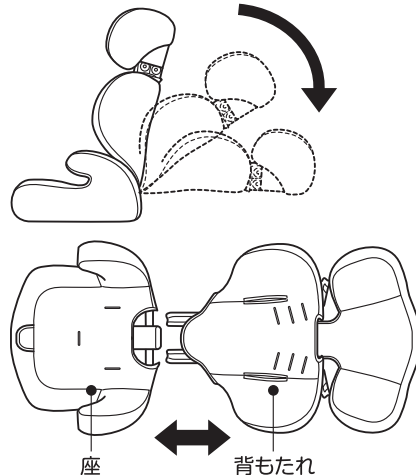
2

ジュニアシートを車両の座席に置き、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

車両の座席の背もたれがリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。

倒した状態で使用した場合、衝突時に車両のシートベルトの下からすり抜ける場合があります、たいへん危険です。

※安定しない場合は装着できません。



3

お子様を深く座らせませす。車両の腰ベルトは左右のベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の腰骨の低い位置にくるようにしてください。

また、車両の腰ベルトが緩んでいる場合は車両の肩ベルトを引っ張り、確実にフィットするように装着してください。

車両の肩ベルトは肩の位置にくるように調整し、車両のバックルは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



〈後席左側取り付けイメージ〉



注意

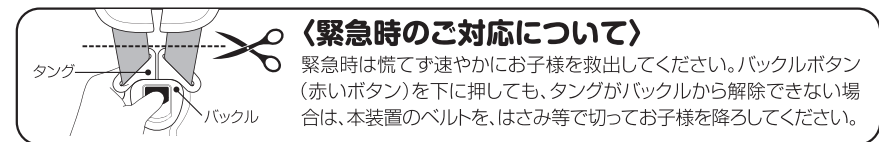
車両の肩ベルトが、お子様の首に掛からないように注意してください。

警告

- ①本装置は取扱説明書通りに取り付けてください。
- ②車両のシートベルトや座席の種類・形状により、取扱説明書通りに取り付けできない場合は、他の座席に取り付けてください。
- ③本装置のベルトが緩んだ状態でご使用しないでください。ベルトに緩みがあると、首に巻き付き窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。
- ④お子様がバックルのボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出ないように、時々ロック部分の確認をしてください。
- ⑤車両のシートベルトや本装置のベルトを、傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。
- ⑥衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損の可能性がありますので使用しないでください。
- ⑦拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・発泡材等を外して使用しないでください。
- ⑧お子様を本装置に乗せてセットする際、骨盤が腰ベルトで固定されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- ⑨走行中のお子様の乗せ降ろし(乗り降り)はしないでください。
- ⑩本装置を取り付け後、車両の座席の移動や調整をしないでください。固定が緩む可能性があります。
- ⑪本装置の部品やベルト等を鋭利なもので傷つけないでください。切れたり欠けたりしていると機能が正常に働かない場合があります。
- ⑫お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。
- ⑬本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になるおそれがあります。

注意

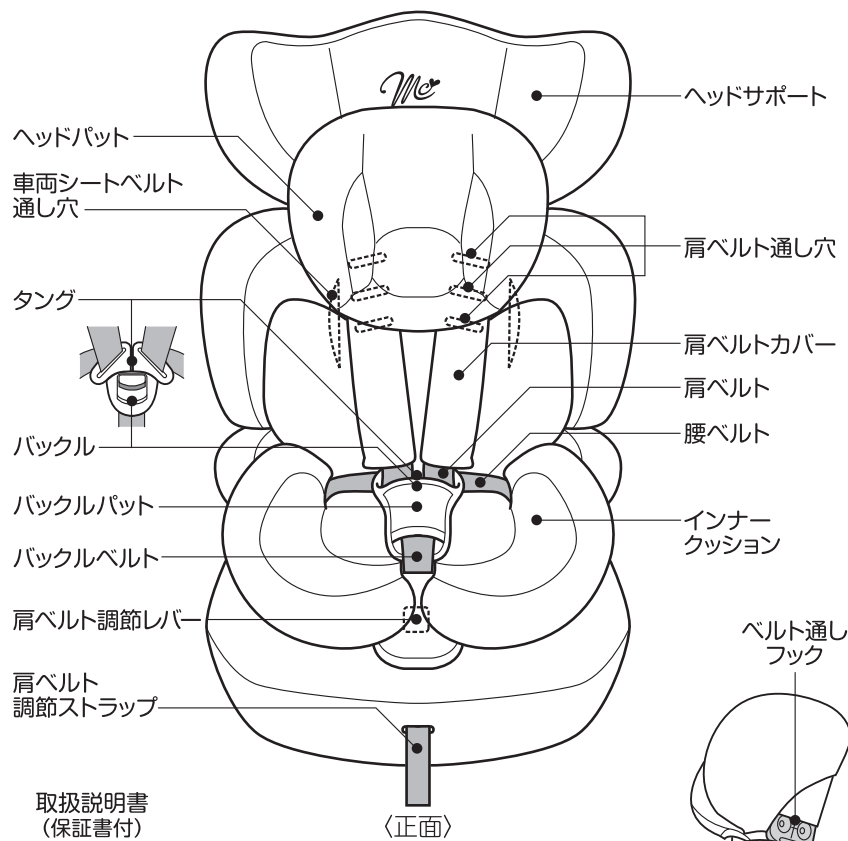
- ①本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- ②本装置に日光が当たりますと、熱くなってお子様がやけどをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂部分に触れて熱くないかを確認してからご使用ください。
- ③お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がったり、中腰にさせないようにしてください。
- ④本装置のバックルや可動部分に水やジュース等をかけないでください。部品の故障につながります。
- ⑤車両内に障害を与える可能性のあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がけがをするおそれがあり危険です。
- ⑥本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ず車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、装置が移動してけがをするおそれがあります。
- ⑦本装置が車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。
- ⑧肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。



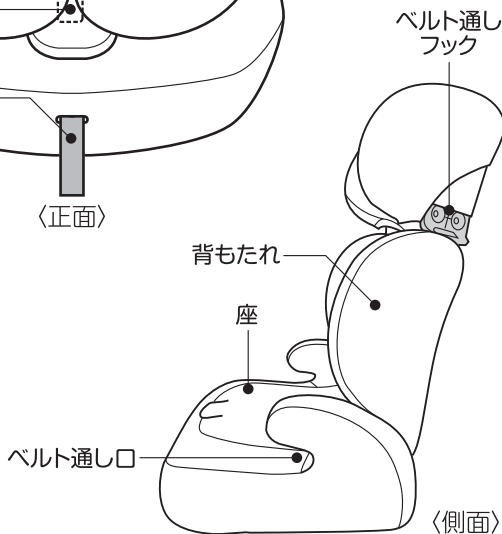
〈緊急時のご対応について〉

緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押しても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトを、はさみ等で切ってお子様を降ろしてください。

各部の名称



取扱説明書
(保証書付)

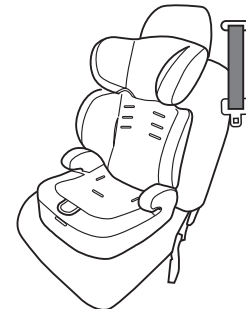


取り付け方

●適用体重: 15kg以上25kg以下
●身長目安: 95~120cm以下

1

ジュニアシートを車両の座席に置き、車両の背もたれとジュニアシートの背もたれに大きな隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



2

お子様を深く座らせ、車両の肩ベルトをベルト通しフックに通し、お子様の首に掛からないように、ねじれないように注意して通します。

3

車両の腰ベルトが左右のベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の腰骨の低い位置にくるようにしてください。車両の腰ベルトが緩んでいる場合は車両の肩ベルトを引っ張り、確実にフィットするように装着してください。車両のシートベルトをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



〈後席左側取り付けイメージ〉



注意

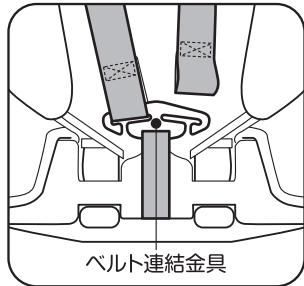
お子様の手や腕は車両のシートベルトより上にして、車両のシートベルトで挟まないように調節してください。

ハイバックジュニアシートとしての使い方

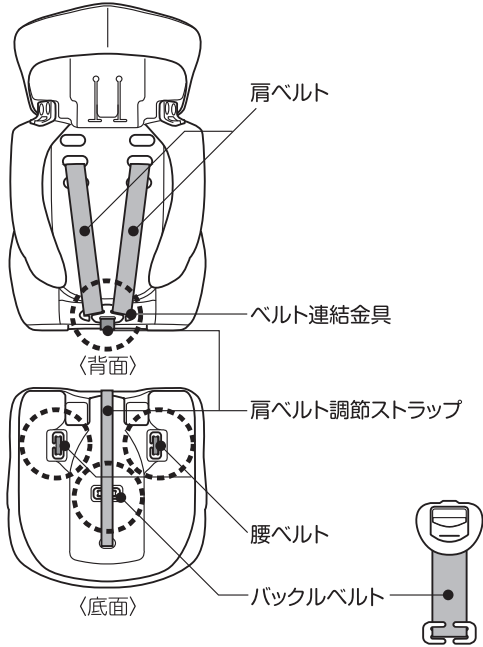
(グループII)

ベルト・バックルの取り外し方

ベルト連結金具から肩ベルトを取り外します。



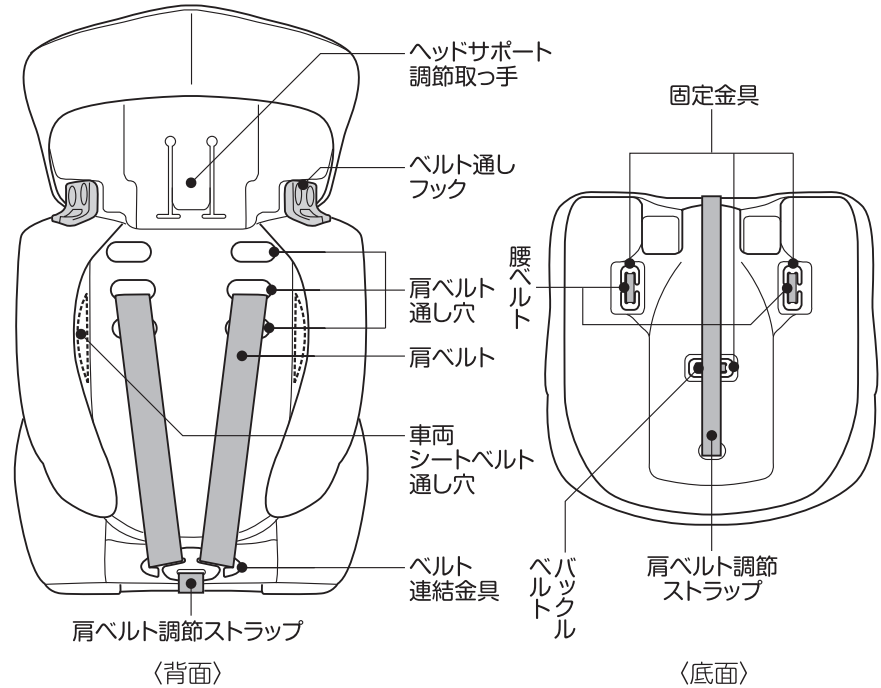
底面にある固定金具・肩ベルトは、下図のように斜めにして通し穴に通します。肩ベルトを本体から引き抜き、取り外します。



バックルベルトも、左図のように固定金具を斜めにして通し穴に通し、バックル・バックルベルトを座から引き抜いてください。

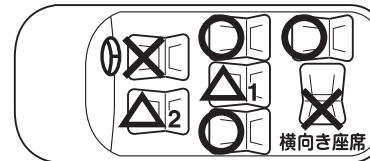
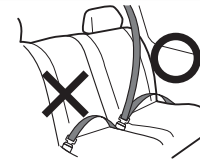
注意

再度チャイルドシートとして使用される場合は、肩ベルト調節ストラップは引き抜かず、小さく折りたたんでください。



車両取り付け可能箇所

- 取り付け可能
- × 取り付け不可
- △1 3点式シートベルトの場合、取り付け可能
- △2 座席を最後部にして取り付けてください



●助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、**後部座席への取り付けをお勧めします。**

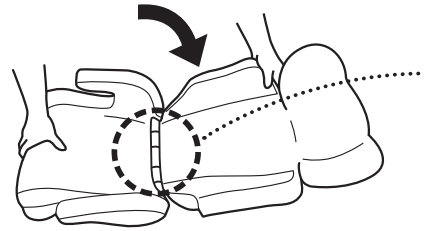
●進行方向に対し、**後向き・横向き**の座席には取り付けられません。事故の際、装置の機能が有効に発揮できません。

●**2点式シートベルト**の座席は、**取り付けられません。**

背もたれと座の取り付け

1 背もたれと座面を水平にして、背もたれのジョイント部分を座のジョイント部分に合わせて、上から押し込んで接続します。

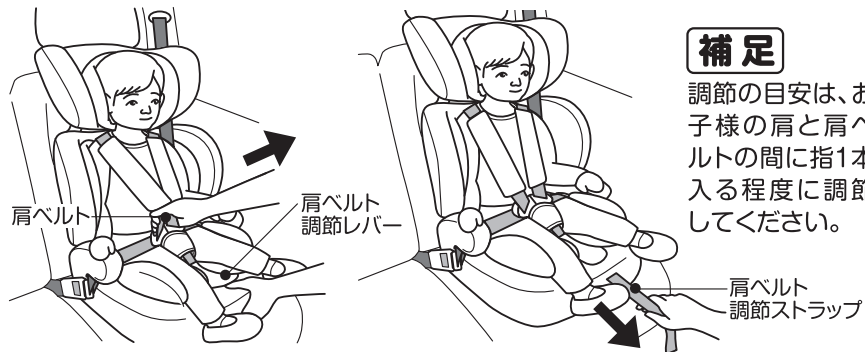
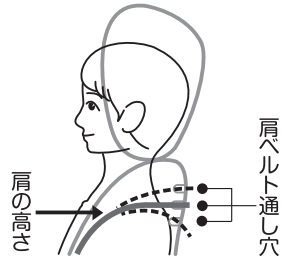
※ 確実にはまっていることを確認してください。



● 適用体重: **9kg以上18kg以下**
● 身長目安: 75~100cm以下

肩ベルトの調節方法

肩ベルトがお子様の肩と同じか、少し高い位置になる肩ベルト通し穴に、肩ベルトを通してください。



補足

調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指1本入る程度に調節してください。

緩め方 お子様を座らせ、肩ベルト調節レバーを押しながら、肩ベルトを手前に引くと肩ベルトは緩みます。



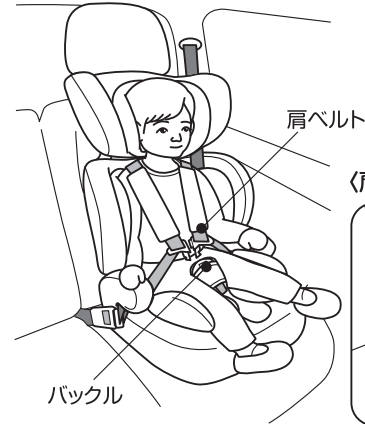
締め方 肩ベルト調節ストラップを手前に引けば、ベルトは締まります。



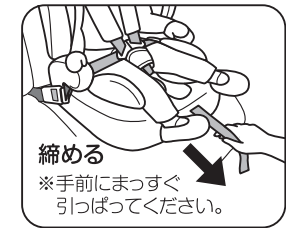
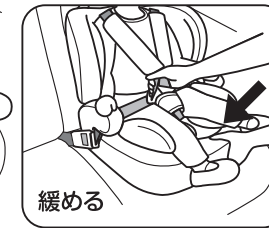
注意 肩ベルト調節ストラップを上引けば、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

6

お子様を座らせ、タングをバックルにセットします。肩ベルトはお子様の肩と肩ベルトの間に指1本入る程度に調節してください。



〈肩ベルトの調節〉(P5参照)



セット後の確認

- 車両のシートベルトに、ねじれがなくお子様の首に掛かっていないこと。
- 本装置のシートベルトに、ねじれがなく、お子様にフィットしていること。
- 車両の腰ベルトがベルト通し口にしっかりと掛っていること。
- 本装置のタングとバックルが、確実にセットされていること。



〈後席右側取り付けイメージ〉

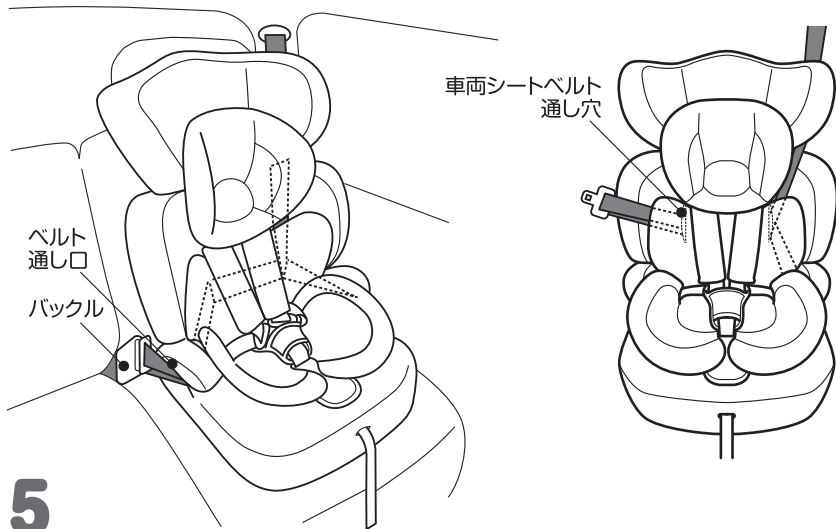


〈後席左側取り付けイメージ〉

チャイルドシートとしての使い方

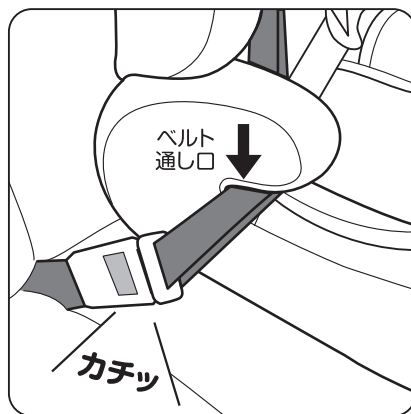
(グループ1)

取り付け方…②

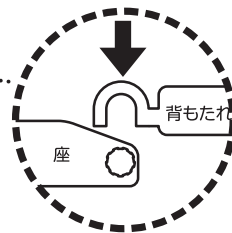


5

背もたれの車両シートベルト通し穴から引き出した車両のシートベルトを、ベルト通し口に通してから車両のバックルにセットします。セットする際は、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

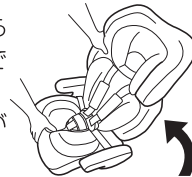


車両のシートベルトは、必ずベルト通し口に通してからバックルにセットしてください。



2 背もたれと座をしっかり持ち、背もたれを引き上げます。

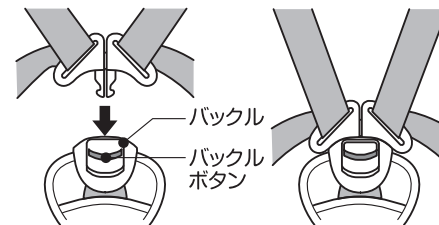
※持ち上げるときにスムーズに上がらない場合は、再度確実にはめ込んでから引き上げてください。
※無理に引き上げると、破損のおそれがあります。



バックル・タングの使用法

バックルボタン(赤い部分)を下に押し、タングをバックルから解除し、お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。

お子様を座らせ、左右の肩に肩ベルトをかけ、タングを真ん中に合わせます。タングをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。

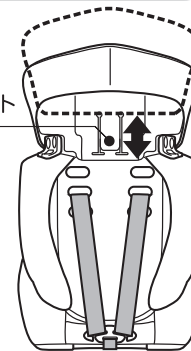


バックルとタングをセットする際は、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

ヘッドサポートの調節方法

ヘッドサポート調節取っ手を引いて上下にスライドさせ、お子様の頭の高さ(ヘッドサポートに頭が収まっている位置)に合わせてください。

ヘッドサポート調節取っ手



チャイルドシートとしての使い方

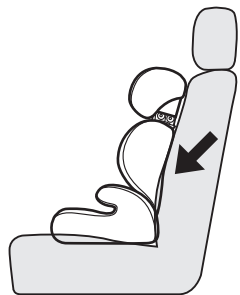
(グループI)

取り付け方...①

●適用体重: **9kg以上18kg以下**
●身長目安: 75~100cm以下

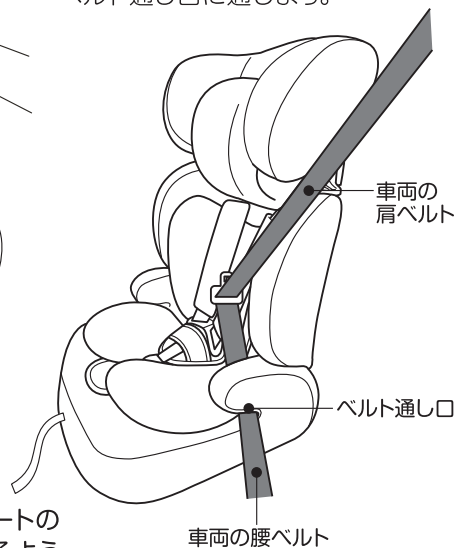
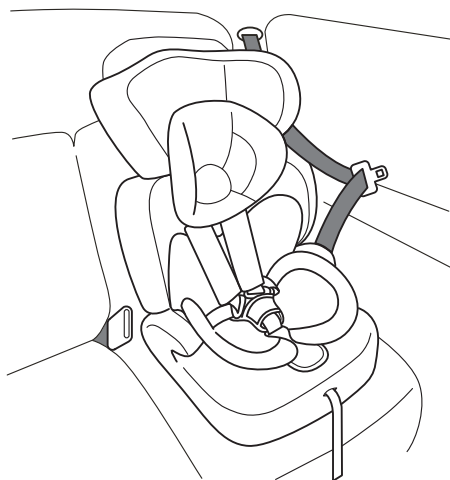
1

チャイルドシートを車両の座席に置き、車両の背もたれとチャイルドシートの背もたれに、大きな隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



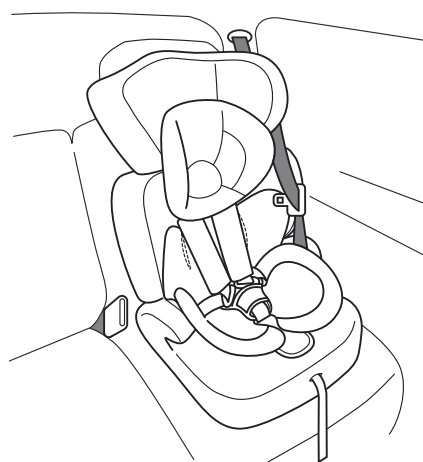
2

車両のシートベルトを引き出します。車両の腰ベルトは、下図のようにベルト通し口に通します。



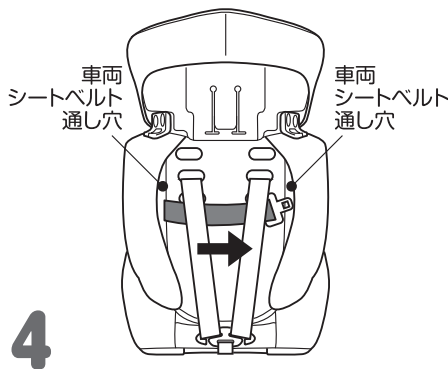
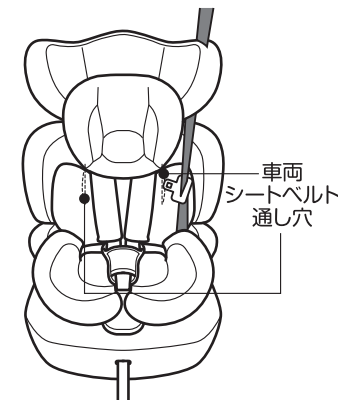
注意 車両の座席とチャイルドシートの背もたれに隙間が少なくなるように取り付けてください。

7



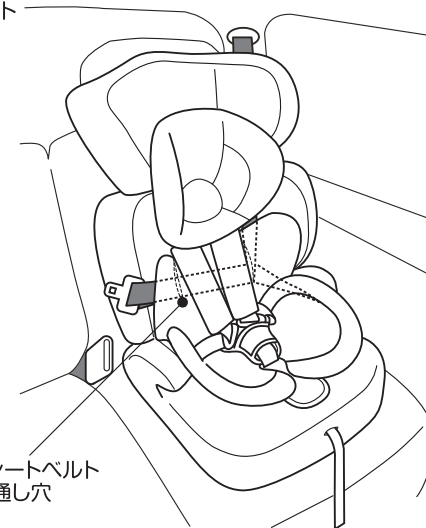
3

車両のシートベルトを、図のように背もたれの車両シートベルト通し穴に通します。



4

背もたれの車両シートベルト通し穴に通した車両のシートベルトを背もたれの背面に通し、反対側の車両シートベルト通し穴から表に引き出します。



8